



いわみざわ 市議会だより

GIKAI GUIDEBOOK

No.141

2024.12.1



TOPICS ~今月の内容~

- 決算審査特別委員会 P2
- 代表質問 P2 ~ P5
- 審議結果、陳情・要望書など P6 ~ P7
- 主権者教育、議会日誌など P8 ~ P9
- 愛称投票依頼、編集後記など P10

主権者教育 始めました!



これまでも取り組んできた主権者教育。本年度より、市内全中学校を対象とした新たなスタイルでスタートしました。写真は、実施済みの北村中・栗沢中・明成中・上幌向中・豊中の3年生皆さんです。

「市議会だより」カラー版はこちらから ➡



決算 審査

特別委員会



第3回定例会で閉会中継続審査と決定された、以下4案件の審査を行うため、10月22日～25日に決算審査特別委員会が開かれ、審査が行われました。
4案件全て認定・可決すべきと決定されました。

※閉会中継続審査：議会会期中に審議終了できず、付託を受けた委員会が議会閉会中に引き続き審査を行うこと。

審査議題

- 議案第49号・令和5年度岩見沢市一般会計及び各特別会計決算の認定について
- 議案第50号・令和5年度岩見沢市病院事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について
- 議案第51号・令和5年度岩見沢市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 議案第52号・令和5年度岩見沢市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

総務分科会

【総務部ほか】

- 議会費 ●総務費（所管分） ●選挙費 ●統計調査費 ●監査委員費

【企画財政部】

- 総務費（所管分） ●消防費 ●公債費 ●諸支出金 ●予備費 ●特別会計・公共用地等造成費

【情報政策部】

- 総務費所管分

【教育委員会】

- 総務費（所管分） ●教育費（所管分） ●特別会計・高等学校費

民生分科会

【市立総合病院・栗沢病院】

- 岩見沢市病院事業会計

【健康福祉部】

- 総務費（所管分） ●民生費（所管分） ●衛生費（所管分） ●教育費（所管分）、 ●特別会計・介護保険費

【市民環境部】

- 総務費（所管分） ●民生費（所管分） ●衛生費（所管分） ●特別会計・国民健康保険費 ●特別会計・後期高齢者医療費

経済建設分科会

【農政部・農業委員会事務局】

- 総務費（所管分） ●農林水産業費

【経済部】

- 総務費（所管分） ●労働費 ●商工費 ●特別会計・公設卸売市場費 ●特別会計・企業用地造成費

【建設部】

- 総務費（所管分） ●土木費

【水道部】

- 特別会計・農業集落排水事業費 ●岩見沢市水道事業会計 ●岩見沢市下水道事業会計

代 表 質 問

第3回定例会では、市長選挙後初の議会となるため、6会派6人の議員が市長の所信表明に対する代表質問を行いました。

10月4日（第2号）

市民クラブ 宮下 透 議員
市政クラブ 野尻 清 議員

10月7日（第3号）

民優会 日向 清一 議員
日本共産党議員団 山田 靖廣 議員

10月8日（第4号）

みどりの会 河合 清秀 議員
公明党 斉須 正友 議員

質問項目の詳細につきましては、発言通告書をご覧ください。





市民クラブ

宮下透



新病院の建設について

【質】建設について

【市長】現状の市立総合病院にな

い病理診断や歯科口腔、心不全・心臓リハビリテーション部門を設置し、医療の質的向上を図る。「救急医療」では、救急搬送直後や手術後など、集中的に医療や看護が提供できる体制を強化。「がん医療」では緩和ケア病棟を新設し、患者の生活の質を改善できる体制を構築。「リハビリ部門」では、回復期リハビリテーション病棟を新設。「周産期部門」では、圏域で唯一分娩可能な病院として機能を拡充し、内視鏡室や化学療法室等の拡充も図る。

【質】建築工事費及び全体事業費については、基本設計で掲げた医療機能は維持し、病床数、延床面積とも2割程度ダウンサイズする見直しを行った。今後は、財政に与える影響を検証していく。

【質】医療の質的向上や南空知医療圏域外の医療機関との連携を強化し、まずは病床利用率の低下を極力抑制する経営努力に取り組みたい。

地域経済の活性化

【質】中心市街地の活性化について

【市長】中心市街地活性化基本計画及びま

ちなか活性化計画のもとハードとソフト両面にわたる事業を展開している。中心市街地の居住者人口割合は上昇傾向で、である。岩見沢は、あそびの広場の利用者が年間5万人を超えるなど市内外の方々に利用されている。各種公共施設等の都市機能の整備に加え、創業支援者の4割以上がまちなかで新規出店し、中心市街地の魅力向上と空き店舗の解消が図られている。都市機能のさらなる誘導と回遊の促進に向けた取組を推進したい。

【質】企業誘致の推進について

【市長】半導体関連企業の動向等の情報収集を行うほか、市独自の進出意向調査の実施や首都圏等での企業展示会に参加し、企業の動向把握や当市のPR等の誘致活動を進めている。議員の皆様や市内経済団体等のコネクションによる情報提供をいただくなど、チーム岩見沢で企業誘致を進めたい。



市政クラブ

野尻清



持続可能な財政運営について

【質】今後の財政運営の考え方について

【市長】中長期財政計画に基づき、

収支の均衡と将来負担の軽減に向けて、財源の確保と歳出の削減に取り組んでおり、令和5年度の決算では2.3億円の黒字となった。

【質】なお、現状の中長期財政計画においては、新病院建設基本計画に基づき、病院事業会計に対する一般会計繰出金をすでに盛り込んでいるが、現在、新病院の実設計段階における図面の作成、概算事業費の積算、病院事業会計の収支シミュレーションといった作業を進めており、その結果を踏まえて中長期財政計画についても見直しを行うこととしている。

【質】この見直しにより、病院事業会計への繰出金が増加することとなり、市の財政に与える影響も大きくなる想定しているが、見直し後の新たな目標に対しこれまで以上に収支改善の取組を進め、将来にわたって持続可能な財政運営を堅持していきたい。

人口縮減時代におけるまちづくりについて

【質】市の人口減少における現状認識について

【市長】人口減少に歯止めをかけることも

重要だが、人口減少が避けられないことを前提として、そのマイナス効果をできる限り抑え、生産性を向上させながら、効率的・効果的な社会システムを構築していくことが、今後より重要になると考える。

【質】人口減少下におけるまちづくりに向けた考え方

【市長】スマート農業の推進は、基幹産業である農業の担い手不足の解消につながる取組であり、また、GPS等を活用した除排雪業務のICT化は、事業者やオペレーターの負担軽減に寄与することが期待されている。こうした未来技術を社会システムに実装していくことは、2040年問題に向けた諸課題の解決に欠かせないツールであり、今後、限られた資源の最適化を図りながら、将来にわたって活力あるまちづくりを進めたい。

【質】人口減少に歯止めをかけることも重要だが、人口減少が避けられないことを前提として、そのマイナス効果をできる限り抑え、生産性を向上させながら、効率的・効果的な社会システムを構築していくことが、今後より重要になると考える。



民優会

日向清一



じむも・子育て支援について

質 「子育てにやさしいまち」に進化してつくるためのビジョンについて

答 【市長】現在策定中の「若見沢市こども計画」において、こども・若者に対する支援が、特定の年齢で途切れることなく、自分らしく社会生活を送ることができるようになるまで続くこと、子育て当事者に対しても、こどもの誕生前から、乳幼児期、学童期・思春期、青年期を経て、大人になるまでを「子育て」と捉え、社会全体で支えていくための方策を盛り込む予定である。

市内のこども・若者、子育て当事者の意見反映や市民との協働はもとより、現在、北海道大学COO・NEXTと進めているプロジェクト「こころとからだのライフデザイン共創拠点」とも協調のもと、「他人（ひと）とともに自分らしく幸せに生きる社会の実現」や、誰もが安心してこどもを産み、育てられる「こどもと子育てに優しいまちづくり」に向けた取組を進める。

情報発信の強化について

質 市長の顔が見え、思いが最大限に分かりやすく伝わる方法について

答 これまでも、広報紙やホームページ、各種SNSやデジタルサイネージ等を活用した情報発信に努め、市政地区懇談会や各種団体等の会合での講話などで、市が取り組んでいること、情報が目指していることなどについて、情報発信を行ってきた。

新たな取組として、私が出席した公務について写真を交えて発信する「市長の動き」の市ホームページへの掲載のほか、子育て支援サイトのリニューアルなどの工夫をしている。

また、カタカナ語や外来語、略語などの点についても、広く一般的に使われ既に日本語として定着しているかなどを検討し、わかりやすい表現を使用した情報発信に努めていく。

今後も、情報発信の在り方について検討を重ね、市民の皆様へ、市政を知っていただき、市民の皆様との信頼を積み重ね、市民本位の市政を進める。



日本共産党議員団

山田靖廣



市長選挙について

質 市長選挙結果について

答 【市長】投票率が低かったことに関し、率直に残念であるが、投票率は、全国的にも様々な要因や課題があると承知している。市政に対して興味、関心を持っていただくことが大事であると考えている。

選挙戦では、新病院建設事業や財政状況について発信する機会が多くなり、3期12年の取組や実績、子育て支援やスマート農業をはじめとする先進的な取組など政策全般について訴えることができず、まちづくり全体の議論が深まらなかつたと感じており、有権者の関心が高まらなかつたのではないかと考えている。一方で、今後4年間の市政の舵取りを任せられた責任は重く、引き続き、市民の声に耳を傾け、市民生活の質の向上と地域経済の活性化を目標に、仕事をしていきたい。これまで積み重ねてきたまちづくりに対し評価を頂いたものと受け止め、改めて責任の重さを実感している。

農業政策について

質 米不足への対応について

答 担当部署で米の在庫状況や出荷見通しなどについてJAいわみざわへの聞き取りなどを行っている。JAいわみざわでは市所有の精米施設をフル稼働させ、Aコープ各店や契約店舗へ出荷し、米の品薄状況の解消に努め、現在は令和6年産米の出荷が開始され、品薄状況は解消されている。国では中長期的な米の生産・消費動向に関する議論が始められ、その中で今回の米の品薄原因についても検証が行われることとなっており、当局としては、国の動向を注視の上、必要に応じて、米の安定供給や生産者の経営安定に関して国への要望を行う。

当局は、米の作付けなどの調整を担うJAいわみざわ地域農業再生協議会に参画し、今後の需要に応じた米の生産、水田農業の確立、農業者の経営安定等に取り組んでおり、今後とも関係機関・団体との情報共有を行うとともに協議を継続していく。



みどりの会

河合清秀



新病院の建設について

質 救急医療体制について

答 【市長】新病院においても、道内救急医療体制における役割は変わらないうが、人口減少下において医療スタッフや医療機器など医療資源の集約化を図る必要があるため、北海道中央労災病院との統合を実現した上で、圏域内における救急医療提供体制を維持していく必要がある。

新病院においてはHCU（高度治療室）やSCU（脳卒中集中治療室）を設置し、救急部門の拡充を図っていくが、救急搬送については、引き続き、適切な役割分担のもとで札幌圏などの三次救急医療機関との連携も図りながら、本圏域内の救急医療を担いたい。

救急患者のスムーズな救急搬送については、新病院の建設にかかわらず、医師の担い手不足や各医療機関の人員体制、一次・二次救急間での連携強化などを含め、今後、圏域内における救急医療に係る体制強化についての議論を深めたい。

持続可能な財政基盤の堅持について

質 新病院建設事業の増大が中長期財政計画に与える影響について

答 市の財政に与える影響も大きくなると想定しており、これまで以上に収支改善の取組を進めることにより、財政基盤を確固たるものとしたい。

質 公共施設の再編に対する考え方について

答 老朽化する公共施設を全て維持することは極めて困難であり、総量の適正化に向けて公共施設マネジメントに取り組んでいる。

具体的な再編は、施設利用者や地域の方々の丁寧な対話と合意形成に十分留意したい。

質 ふるさと納税の寄付額を増やす取組について

答 商工会議所などの関係団体の協力を得て、市内企業に返礼品の提供を呼び掛け、委託事業者である博報堂の知見を活用した返礼品のブランディングを進めており、寄付額の増加につなげてまいりたい。



公明党

斎須正友



強靱なまちづくりについて

質 強靱化計画中の地域コミュニティの活性化について

答 【市長】町会加入率の水準を維持していくため、各町会における地道な町会加入の勧奨と合わせ、市の窓口での転入・市内転居の際のチラシの配布や、町会連合会と連携して、宅建協会を通じたアパート入居者などに対する周知、北海道教育大学若見沢校の新入生に対するチラシの配布をしている。

町会活動については、市民連携室が一元化した窓口として、ソフト面、ハード面で支援を実施している。

また、町会等への支援として地域コミュニティ活性化事業交付金を交付しているほか、防災活動支援として、防災活動支援補助金や、災害時の電源対策として、ポータブル発電機の貸与など、地域コミュニティへの支援を実施している。

今後も、町会連合会や各町会と協議を行いながら、地域コミュニティの活性化を図る。

今後の市政運営について

質 住民主体の市政について

答 職員については、職務の中で見てきたこと、聞いてきたこと、それらを基に市民の皆様の声を受け止め、庁内横断的にスピード感を持ち、市政に反映させることを基本としている。

サマーレビューやオータムレビューあるいは予算編成の協議の中で、職員との共通理解をもとに、予算や事務事業の方向性の検討を進め、職員とも議論を行い市政に取り組んでいる。

また、行政評価の手法についても、私が市長就任後に策定した行政改革大綱に基づき、市役所外部の委員によって構成される市政改革懇話会の中で、私をはじめ副市長以下職員も交えて意見交換を行い、職員の意見についても、その後の各種施策を含め市政に反映している。

今後についても、私を含め一人一人の職員が市民の皆様の声に耳を傾け、それを共有し、職員とも議論を重ねて、市民本位の市政を進める。

令和6年第3回定例会（9月30日▶10月11日）審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第40号	岩見沢市における個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第41号	岩見沢市福祉医療費助成に関する条例及び岩見沢市国民健康保険条例の一部改正について	//
議案第42号	岩見沢市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例及び岩見沢市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	//
議案第43号	岩見沢市立学校設置条例の一部改正について	//
議案第44号	北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	//
議案第45号	市道路線の認定について	//
議案第46号	和解の決定について	//
議案第47号	令和6年度岩見沢市一般会計補正予算について（第4号）	//
議案第48号	令和6年度岩見沢市特別会計介護保険費補正予算について（第1号）	//
議案第49号	令和5年度岩見沢市一般会計及び各特別会計決算の認定について	閉会中 継続審査
議案第50号	令和5年度岩見沢市病院事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	//
議案第51号	令和5年度岩見沢市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	//
議案第52号	令和5年度岩見沢市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	//
議案第53号	教育委員会の委員の任命について【遠藤かずみ氏】	同意
意見書案第9号	国土強靱化に資する社会資本整備等について	原案可決
意見書案第10号	改正食料・農業・農村基本法の実行性確保等について	//
意見書案第11号	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化について	//
意見書案第12号	地方財政の充実・強化について	//
意見書案第13号	自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備について	//
意見書案第14号	慢性閉塞性肺疾患（COPD）の潜在的な患者に関する適切な対応について	//
意見書案第15号	新型コロナウイルス感染症に対する経済的な負担軽減について	//
意見書案第16号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准について	//
決議案第2号	イスラエルとハマスの即時停戦と平和的解決について	//

※可決した意見書案・決議案の全文は、市議会ホームページでご覧になれます。

第3回定例会まで提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配付されました。

- 母が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情について
- 岩見沢市における国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書について
- 改正食料・農業・農村基本法の実効性確保等に関する意見書について
- 令和7年度理科教育設備整備費等補助金の予算計上について



10月2日(水)、FMはまなす「ひろむのちょこまかエクスプレス」にて、第3回定例会の告知を中心に今後の議会の活動予定についてお話させていただきました。

FMはまなすに出演させていただきました。

出演時の模様はこちらから！→



市議会を傍聴してみませんか？

年4回開催される定例会や随時開催される委員会では、私たちの生活に関わる大切なことを審議しています。ぜひ、一緒に考えてみませんか？

傍聴をご希望の方は、開催日当日に市役所4階までお越しください。

※事前の予約は不要です。ただし、団体で傍聴を希望される場合は、傍聴席の数に限りがあるため、事前にお問い合わせください。

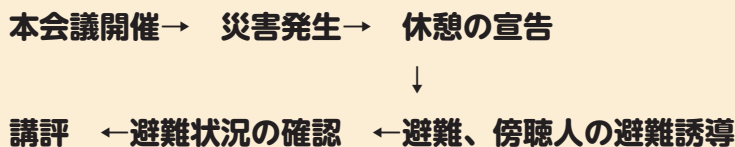


- ① 日付・ご住所・お名前の記入
- ↓
- ② 受付票を傍聴受付箱へ
- ↓
- ③ 通路を進み、お好きな席にお座りください

災害時における市議会と議会事務局の体制を検証・点検し、災害に対する危機意識を高める観点から全議員及び事務局職員が参加の防災訓練を実施いたしました。

防災訓練

実施しました



主権者教育 実施しました。



社会問題や地域課題に対し、自ら考え、判断し、行動していく主権者を育成し、将来の地方自治を担う子どもたちに地方議会への理解や関心を深めることを目的とした「主権者教育」。

本年度、岩見沢市議会では市内全中学校（3年生）を対象に実施しております。北村中・栗沢中・明成中・豊中は議場にて、上幌向中は議員が学校へ訪問するスタイルでの取組となりました。質問する際は少し緊張しながらも堂々と発言されました。清園中・東光中・光陵中・緑中につきましても今後、順次実施予定となっております。

～主権者教育実施内容～

- ・議場の説明
- ・市議会のしくみ、市民の要望が実現されるまで
- ・バックヤードツアー
- ・議員の活動について
- ・生徒からの質問、議員から回答
- ・自由見学など

※内容は議場見学と学校訪問があり、各学校の意向に合わせて実施しています。



8月30日～北村中学校～



9月4日～栗沢中学校～



9月12日～上幌向中学校～

学びの多い時間

となりました！

生徒の皆さんから「地域の課題」、「議員の仕事」、「すみよいまちづくりについて」などたくさんの質問を頂きました。一つずつ答えさせていただく中で、私たち議員も改めて考える貴重な機会となりました。

また、議場での自由見学の際は、生徒の皆さんとフリートークを交えながら楽しい時間を過ごす事ができました。



10月29日～豊中学校～

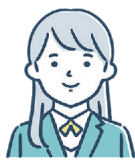


9月13日～明成中学校～

感想を聞いてみました！



あまり市議会の事を知らなかったけど、今回をきっかけに市議会、岩見沢に関する色々なことを興味深く知れた



有権者の半分も投票していないと知って驚いたし、投票する権利が与えられた時は投票しようと思った



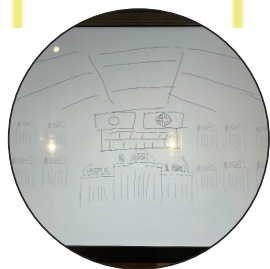
僕も議員になりたいです



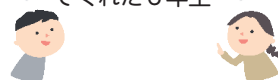
新しい建物でどこも綺麗で清潔感があった。私たちのために市議会のことを教えてくれて嬉しかった

議場見学

実施しました。



タブレットに議場の絵を上手に描いてくれた6年生



岩見沢緑陵高校



第一小学校



7月8日に岩見沢緑陵高校2・3年生22名(希望者のみ)、7月10日は第一小学校6年生62名の皆さんが議場見学に来られました。

議場はもちろん、普段はなかなか見ることのできないバックヤードツアーや皆さんが一生懸命考えた岩見沢市のまちづくりに関する事、議員に関する質問に答弁いたしました。

議会日誌

10月

- 4日 ・第3回定例会(第2号)
- ・広報広聴委員会
- 7日 ・第3回定例会(第3号)
- 8日 ・第3回定例会(第4号)
- ・決算審査特別委員会
- ・会議規則等改正検討委員会
- 9日 ・総務常任委員会、民生常任委員会
- ・経済建設常任委員会
- 11日 ・議会運営委員会
- ・第3回定例会(第5号)
- ・議員会役員会
- ・広報広聴委員会
- 22日 ・決算審査特別委員会
- ・決戦審査特別委員会総務分科会
- ・広報広聴委員会
- 23日 ・決算審査特別委員会民生分科会
- ・民生常任委員会
- 24日 ・決算審査特別委員会経済建設分科会
- 25日 ・決算審査特別委員会
- 29日 ・豊中学校主権者教育
- 31日 ・岩見沢市議会防災訓練

市議会では定例会の他にも、委員会や研修会など、さまざまな活動が行われています。

7月~10月までの4か月の市議会の活動をお伝えします。



9月

- 4日 ・栗沢中学校主権者教育
- 5日 ・会議規則等改正検討委員会
- 9日 ・総務常任委員会
- ・民生常任委員会
- 10日 ・経済建設常任委員会
- 11日 ・上幌向中学校主権者教育
- 13日 ・明成中学校主権者教育
- ・広報広聴委員会
- 27日 ・議会運営委員会
- 30日 ・第3回定例会(第1号)
- ・民生常任委員会

7月

- 8日 ・広報広聴委員会
- 19日 ・経済建設常任委員会
- 26日 ・新病院建設特別委員会
- 31日 ・会議規則等改正検討委員会

8月

- 9日 ・幹事長会議
- 19日 ・総務常任委員会
- 22日 ・林活議連研修会
- ・道央支部協議会議員研修会
- ・広報広聴委員会
- 29日 ・経済建設常任委員会
- 30日 ・北村中学校主権者教育

みんなで 決めよう！

～「市議会だより」愛称選挙～



年4回、市議会の情報を発信している市議会だより、より多くの皆様に、より身近に感じていただきたいの思いから、愛称を付けることにいたしました。市民皆様の投票により、一番投票数の多かった愛称に決めたいと思いますので、たくさんの投票をお待ちしています。

どなたでも
投票できます！

たくさんの
ご投票お待ち
しています！



「愛称」

由来・思い

投票期間

○議会かわら版

議会の情報を市民にタイムリーに伝える意味

○Gikai +

(ギカイプラス)

Gikai(議会)は市民(+)と共に歩み続ける

○結-YUI-

議会と市民を結び、今、そして未来へと結んでゆく

○いわみらい

子ども達のために、岩見沢の未来を話し合う議会

○TSUNAGU

(ツナグ)

議会と市民をツナグ。過去と現在そして未来をツナグ。

※上記の5つの候補は、岩見沢市議会で選んだ候補です。

令和6年11月25日～
令和7年1月31日

投票方法

- ①スマートフォン・タブレット等より、
下記のQRコードを読み取り投票
 - ②市議会ホームページより、
リンクをクリックし投票
 - ③市議会事務局へ、
電話(0126-35-4907)もしくは
FAX(0126-25-5503)で投票
- ※開庁時間(平日9:00～17:00)のみ受付可
※その他の投票方法につきましては、
市議会ホームページをご覧ください。

右記QRコード
より回答！➡



編集後記

本年度より市内全中学校を対象とした主権者教育が始まりました。「国や社会や地域の問題を自からの問題として捉え、自発的に考え、判断し、行動していく主権者を育成していくこと」を目的としておりますが、議場という特別な場所でも、しっかりと多くの質問をしてくれる生徒さんから学ばせて頂くことも多くあります。「議会はどのような場所で、どのような議論がなされているのか」議会広報広聴委員会では、今後もより市民の皆様に分かりやすく、読みやすい議会だよりの作成に努めてまいります。

議会広報広聴委員会委員 枝廣 晴基

議会広報広聴委員会

委員長 宮下 透 副委員長 大和 勝

委員

新井 優也 枝廣 晴基 坂井 秋子
野尻 清 猪口 満雅 山田 靖廣
松本 一郎

次回の定例会
のご案内



令和6年第4回定例会は
12月上旬
開会予定です。